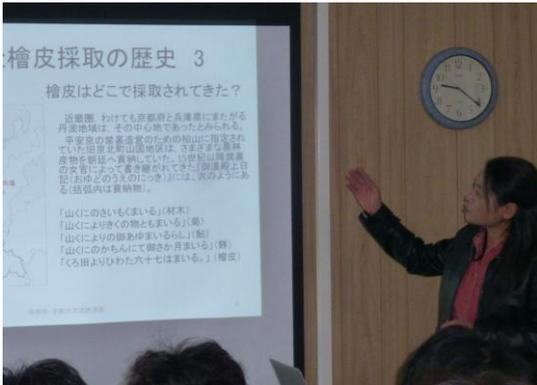


京都大学フィールド科学教育研究センター・周南市連携講座が開催されました

H27年11月21日（土）

京都大学フィールド科学教育研究センター徳山試験地は、緑豊かな施設環境を活かし、平成23年度より「京都大学・周南市連携講座（森里海連環学）」を開催し、環境を総合的に考える人材を育成することで、周南市に大きく地域貢献されています。

今回の講座では、京都大学フィールド科学教育研究センターの坂野上なお助教による講義「檜皮の供給とヒノキ林の経営」と、(公社)全国社寺等屋根工事技術保存会のプロの原皮師^{もとかわし}大野浩二さんによる檜皮採取の見学が行われました。見学の際には、同会の村上英明会長に専門的な内容を分かりやすく解説していただきました。32名の参加者の皆さんは、講義で檜皮について学んだ後、森の中で原皮師の行う実際の作業を熱心に観察されました。



←まず、講義が行われました。



↓次に、檜皮採取の見学です。原皮師の高度な技術に感動しました。(高所でも「ぶり縄」で体を支え、木製のへうで表皮のみを剥ぎ取ります。)



↓道具についても詳しく解説されました。



↓採取後の檜皮は手際良くまとめられます。



一般の人は見る機会が無い「檜皮採取」を見学できました！

